



平成19年9月28日

各 位

南海電気鉄道株式会社

業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年5月8日発表の平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)の中間期および通期業績予想を以下の通り修正いたします。

1. 平成20年3月期単体中間業績予想の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-----------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 36,800 | 5,900 | 3,500 | 4,200 |
| 今回修正予想 (B) | 38,100 | 7,400 | 6,100 | 700 |
| 増減額 (B - A) | 1,300 | 1,500 | 2,600 | 3,500 |
| 増減率 (%) | 3.5 | 25.4 | 74.3 | - |
| (ご参考)前期(平成19年3月期中間実績) | 35,168 | 7,357 | 8,375 | 5,799 |

2. 平成20年3月期連結中間業績予想の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-----------------------|--------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 93,700 | 11,800 | 6,400 | 2,300 |
| 今回修正予想 (B) | 94,700 | 13,400 | 8,400 | 900 |
| 増減額 (B - A) | 1,000 | 1,600 | 2,000 | 3,200 |
| 増減率 (%) | 1.1 | 13.6 | 31.3 | - |
| (ご参考)前期(平成19年3月期中間実績) | 91,835 | 13,462 | 8,526 | 4,441 |

3. 平成20年3月期単体通期業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------|--------|--------|--------|-------|
| 前回発表予想 (A) | 75,900 | 14,100 | 8,100 | 2,300 |
| 今回修正予想 (B) | 77,500 | 15,500 | 10,700 | 5,300 |
| 増減額 (B - A) | 1,600 | 1,400 | 2,600 | 3,000 |
| 増減率 (%) | 2.1 | 9.9 | 32.1 | 130.4 |
| (ご参考)前期(平成19年3月期実績) | 70,168 | 14,284 | 13,352 | 2,806 |

4.平成20年3月期連結通期業績予想の修正(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------|---------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想 (A) | 198,100 | 27,000 | 16,500 | 8,000 |
| 今回修正予想 (B) | 199,000 | 28,100 | 18,200 | 10,600 |
| 増減額 (B - A) | 900 | 1,100 | 1,700 | 2,600 |
| 増減率 (%) | 0.5 | 4.1 | 10.3 | 32.5 |
| (ご参考)前期(平成19年3月期)実績 | 192,986 | 26,574 | 16,783 | 6,242 |

5.修正の理由

(1)中間期(単体)

前回予想時と比べ、鉄道事業及び土地建物販売事業において増収となること等から、売上高、営業利益が増加する見込みであり、さらに関係会社からの受取配当金の増加や支払利息の減少等により経常利益は26億円増加する見込みであります。また、経常利益の増加に加え、特別利益に関係会社の整理再編の進捗に伴い貸倒引当金等の戻入益約4億円を計上すること等により中間純利益は35億円増加する見込みであります。

(2)中間期(連結)

上記のとおり当社において予想を上回る見込みであることから売上高、営業利益、経常利益、中間純利益がそれぞれ増加する見込みであります。この結果、前回予想時には「棚卸資産の評価に関する会計基準」を早期適用することに伴う特別損失約72億円の計上により、中間純損失を計上する見込みでありましたが、大幅な増益見通しとなったことにより、中間純利益を確保できる見込みとなっております。

(3)通期(単体)

通期の業績については、上期の業績予想を考慮した上で、下期の業績予想を加味しております。下期では、鉄道事業において修繕費等の増加を見込んでいるものの、通期の売上高、営業利益ともに増加する見通しであります。以上の結果、経常利益が26億円増加し、当期純利益は30億円増加する見込みであります。

(4)通期(連結)

上記のとおり当社において予想を上回る見込みであることから売上高、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ増加する見込みであります。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上